

# 感染状況・医療提供体制の分析(6月15日時点)

【岡山県専門家有志】  
(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計		前回の数値 (6月8日時点)	現在の数値 (6月15日時点)	前回との比較	分析コメント		
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	1882人 (100.3人)	1411人 (75.2人)	↓	感染状況 コメント	レベル3. 感染縮小の兆候があるが警戒が必要	
		60歳以上 (総数に占める割合)	198人 (11%)	149人 (11%)	↓			
	②圏域別 新規陽性者数	県南東部		931人	722人	↓	新規陽性者は <u>人口10万人当たり75人</u> と減少も、10歳未満の陽性者数は変わらない。医療機関や高齢者施設でのクラスターも散発的に発生している。 陽性者数は今後も減少が予想されるが、ワクチン3回目接種で獲得した免疫の減少、梅雨時期の室内活動の増加、国内移動の増加、出入国制限の緩和など、陽性者再増加に転じる要因も多い。メリハリのある感染対策の継続を。	
		県南西部		664人	501人	↓		
		高梁・新見		33人	32人	→		
		真庭		22人	26人	→		
		津山・英田		232人	129人	↓		
	市中潜在・感染	③新規陽性者における接触歴不明者	数	607人 (調査中を除く)	425人 (調査中を除く)	↓		
			割合 (③/①)	40.8% (調査中を除く)	37.3% (調査中を除く)	↓		
	医療提供体制	④入院患者数 (確保病床における入院割合)		79人 (14%)	71人 (13%)	↓		医療提供体制コメント
⑤宿泊療養者数		62人	49人	↓	感染者数減少に伴い、入院患者、宿泊・自宅療養者数は減少。通常医療が提供可能な体制が維持できている。			
⑥自宅療養者数		2013人	1582人	↓				
⑦重症者数		1人	1人	→				